



# Cloud Manager からコネクタを作成します

## Cloud Manager

Ben Cammett  
February 28, 2021

# 目次

Cloud Manager からコネクタを作成します .....	1
AWS でコネクタを作成する .....	1
Azure でコネクタを作成する .....	2
GCP でコネクタを作成する .....	4

# Cloud Manager からコネクタを作成します

Cloud Manager のほとんどの機能を使用するには、Account Admin が \_ Connector を導入する必要があります。Connector を使用すると、Cloud Manager でパブリッククラウド環境内のリソースとプロセスを管理できます。このページでは、Cloud Manager からコネクタを直接作成する方法について説明します。

これらの手順は、Account Admin ロールを持つユーザが実行する必要があります。ワークスペース管理者はコネクタを作成できません。

"コネクタが必要になるタイミングを学習します"。



最初の Cloud Volumes ONTAP 作業環境を作成する際、まだコネクタがない場合は、Cloud Manager からコネクタの作成を求められます。

## AWS でコネクタを作成する

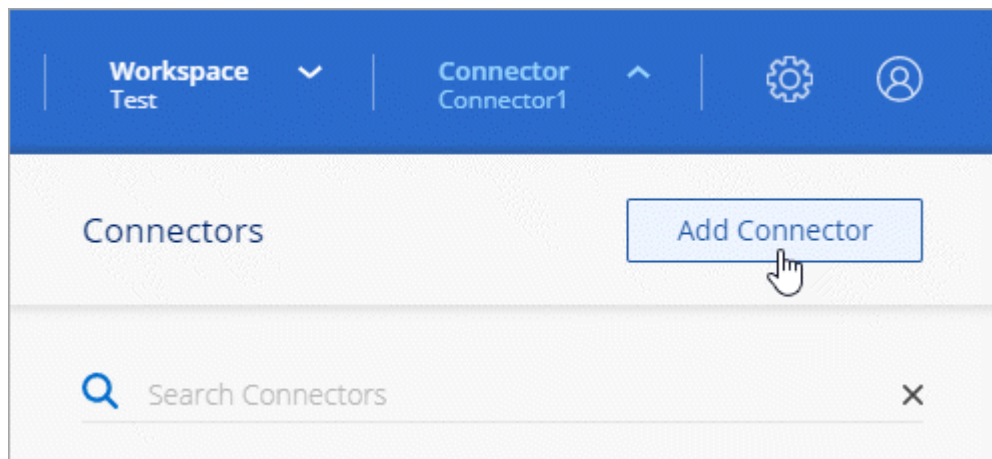
Cloud Manager では、ユーザインターフェイスから AWS に直接コネクタを作成できます。オプションとして、を選択することもできます ["AWS Marketplace からコネクタを作成します"](#)または ["ソフトウェアをダウンロードして、ご使用のホストにインストールします"](#)。

必要なもの

- IAM 用の AWS アクセスキーとシークレットキー を持つユーザ ["必要な権限"](#)。
- 選択した AWS リージョン内の VPC 、サブネット、キーペア。

手順

1. 最初の作業環境を作成する場合は、 \* 作業環境の追加 \* をクリックし、プロンプトに従います。それ以外の場合は、コネクターアイコンをクリックし、 \* コネクターを追加 \* を選択します。



2. [ \* 開始しましょう \* ] をクリックします。
3. クラウドプロバイダとして「 \* Amazon Web Services \* 」を選択します。

Connector は、作成する作業環境の種類や有効にするサービスへのネットワーク接続を確立する必要があります。ことに注意してください。

"Connector のネットワーク要件の詳細については、こちらをご覧ください"。

4. 必要な情報を確認し、[\* Continue (続行) ]をクリックします。
5. 必要な情報を入力します。
  - \* AWS クレデンシャル \* : インスタンスの名前を入力し、権限の要件を満たす AWS アクセスキーとシークレットキーを指定します。
  - \* 場所 \* : インスタンスの AWS リージョン、VPC、およびサブネットを指定します。
  - \* ネットワーク \* : インスタンスで使用するキーペア、パブリック IP アドレスを有効にするかどうか、およびオプションでプロキシ設定を指定します。
  - \* セキュリティグループ \* : 新しいセキュリティグループを作成するか、インバウンド HTTP、HTTPS、SSH アクセスを許可する既存のセキュリティグループを選択するかを選択します。



コネクタへの着信トラフィックは、開始しない限りありません。へのアクセスは、HTTP および HTTPS を使用して提供されます。"ローカル UI"は、まれな状況で使用します。SSH が必要になるのは、トラブルシューティングのためにホストに接続する必要がある場合のみです。

6. [作成 (Create) ]をクリックします。

インスタンスの準備が完了するまでに約 7 分かかります。処理が完了するまで、ページには表示されたままにしておいてください。

## Azure でコネクタを作成する

Cloud Manager では、ユーザインターフェイスから直接 Azure にコネクタを作成できます。オプションとして、を選択することもできます ["Azure Marketplace からコネクタを作成します"](#)またはをに設定します ["ソフトウェアをダウンロードして、ご使用のホストにインストールします"](#)。

必要なもの

- ["必要な権限"](#) 使用している Azure アカウントに対して。
- Azure サブスクリプション。
- 選択した Azure リージョン内の VNet およびサブネット

手順

1. 最初の作業環境を作成する場合は、\* 作業環境の追加 \* をクリックし、プロンプトに従います。それ以外の場合は、コネクターアイコンをクリックし、\* コネクターを追加 \* を選択します。



2. [\* 開始しましょう \*] をクリックします。
3. クラウドプロバイダとして「\* Microsoft Azure \*」を選択します。

Connector は、作成する作業環境の種類や有効にするサービスへのネットワーク接続を確立する必要があることに注意してください。

["Connector のネットワーク要件の詳細については、こちらをご覧ください"。](#)

4. 必要な情報を確認し、[\* Continue（続行）] をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、Microsoft アカウントにログインします。このアカウントには、仮想マシンの作成に必要な権限が付与されている必要があります。

このフォームは、Microsoft が所有およびホストしています。クレデンシャルがネットアップに提供されていません。

6. 必要な情報を入力します。
  - \* VM 認証 \* : 仮想マシンの名前、ユーザ名、パスワード、または公開鍵を入力します。
  - \* 基本設定 \* : Azure サブスクリプション、Azure リージョン、および新しいリソースグループを作成するか既存のリソースグループを使用するかを選択します。
  - \* ネットワーク \* : VNet とサブネットを選択し、パブリック IP アドレスを有効にするかどうか、および必要に応じてプロキシ設定を指定します。
  - \* セキュリティグループ \* : 新しいセキュリティグループを作成するか、インバウンド HTTP 、 HTTPS 、 SSH アクセスを許可する既存のセキュリティグループを選択するかを選択します。



コネクタへの着信トラフィックは、開始しない限りありません。へのアクセスは、HTTP および HTTPS を使用して提供されます ["ローカル UI"](#)は、まれな状況で使用します。SSH が必要になるのは、トラブルシューティングのためにホストに接続する必要がある場合のみです。

7. [作成（Create）] をクリックします。

仮想マシンの準備が完了するまでに約 7 分かかります。処理が完了するまで、ページには表示されたままにしておいてください。

# GCP でコネクタを作成する

Cloud Manager では、ユーザインターフェイスから直接 GCP でコネクタを作成できます。オプションとして、を選択することもできます ["ソフトウェアをダウンロードして、ご使用のホストにインストールします"](#)。

必要なもの

- ["必要な権限"](#) をクリックしてください。
- Google Cloud プロジェクト。
- Cloud Volumes ONTAP の作成と管理に必要な権限を持つサービスアカウント。
- Google Cloud リージョン内の VPC とサブネット。

手順

1. 最初の作業環境を作成する場合は、\* 作業環境の追加 \* をクリックし、プロンプトに従います。それ以外の場合は、コネクターアイコンをクリックし、\* コネクターを追加 \* を選択します。



2. [\* 開始しましょう \*] をクリックします。
3. クラウドプロバイダとして \* Google Cloud Platform \* を選択します。

Connector は、作成する作業環境の種類や有効にするサービスへのネットワーク接続を確立する必要があることに注意してください。

["Connector のネットワーク要件の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

4. 必要な情報を確認し、[\* Continue (続行) ] をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、Google アカウントにログインします。このアカウントには、仮想マシンインスタンスを作成するために必要な権限が付与されている必要があります。

このフォームは Google が所有およびホストしています。クレデンシャルがネットアップに提供されていません。

6. 必要な情報を入力します。
  - \* 基本設定 \* : 仮想マシンインスタンスの名前を入力し、必要な権限を持つプロジェクトおよびサービスアカウントを指定します。
  - \* 場所 \* : インスタンスのリージョン、ゾーン、VPC、およびサブネットを指定します。

- \* ネットワーク \* :パブリック IP アドレスを有効にするかどうかを選択し、必要に応じてプロキシ設定を指定します。
- \* ファイアウォールポリシー \* :新しいファイアウォールポリシーを作成するか、インバウンド HTTP、HTTPS、SSH アクセスを許可する既存のファイアウォールポリシーを選択するかを選択します。



コネクタへの着信トラフィックは、開始しない限りありません。へのアクセスは、HTTP および HTTPS を使用して提供されます "[ローカル UI](#)"は、まれな状況で使用します。SSH が必要になるのは、トラブルシューティングのためにホストに接続する必要がある場合のみです。

7. [ 作成 ( Create ) ] をクリックします。

インスタンスの準備が完了するまでに約 7 分かかります。処理が完了するまで、ページには表示されたままにしておいてください。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.